



500枚 全ての色柄が違う公式ポスター制作

オフセット印刷の上に、版画を学ぶ学生が
シルクスクリーンの手刷りを行い、特別な広報ポスターをつくりあげました



2024年7月27日と28日の2日にわたり、京都市立芸術大学の版画専攻／シルクスクリーン工房にて、版画を学ぶ美大生とともに [PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ 第4回](#) (2025年4月15日(火) - 5月11日(日)開催)の公式広報ポスターを刷り上げました。
※ 参加大学: 京都市立芸術大学、嵯峨美術大学、成安造形大学、京都精華大学 (順不同)

すでにモノクロでオフセット印刷されたポスター紙の上に、シルクスクリーンのシャ枠を重ね、水性インクと油性インクという種類の違う2つのインクごとに各2グループ、合計4グループに分かれた学生が、慎重に、時に大胆に色を調合して手刷りしました。その様子は公式Instagram (@patinkyoto) に逐次投稿され、記録を見ることができます。

一つとして同じ仕上がりのない公式ポスターが、2日間で500枚完成し、各グループごとに2作品(ベストと次点)、合計8作品が選抜されました。完成したポスターは、美術館や大学、ギャラリー、公共施設などの場所に配布され、選抜作品はポスター以外の広報物にも展開される予定です。

参加した大学生からは、「いつもの制作では試さないようなインクの重ね方をしたので、偶然あられる色や形がみられたのが興味深かった」「違う大学の学生とともに作業しながら話したことが楽しかったし学びになった」との感想がありました。

形式や方法の多様性が広がる日本の現代版画を評価する批評的視座を見出す事を目的に立ち上げられた”PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ”にふさわしい、示唆に富んだ広報ポスターとなりました。



緑色の部分にシルクスクリンで印刷を重ねています

PATinKyoto 京都版画トリエンナーレとは

京都版画トリエンナーレは、日本の伝統文化としての版画、そして現代の版画表現の豊かさを、文化芸術都市京都から世界に向けて発信するべく、複数コミッショナーの推薦制と広い展示空間の提供を実施の2本柱に、2013年に第1回展を、2016年に第2回展を、2022年に第3回展を開催した。2025年春に第4回の開催と17組の出品作家が発表されている。

公式ウェブサイト <https://patinkyoto.info/fourth/>

公式インスタグラム <https://www.instagram.com/patinkyoto/>

お問い合わせ先

第4回PATinKyoto 京都版画トリエンナーレ事務局 担当：岸 E-mail: patinkyoto@gmail.com